

平成 31 年度環境技術実証事業における実証対象技術の公募について

平成 31 年 1 月 15 日

環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室

平成 31 年度の実証対象技術については、水・土壌環境保全技術領域、気候変動対策技術領域、自然環境保全技術領域の 3 領域（分野）において、平成 30 年 10 月から 11 月にかけて募集を行ったところ。

来年度には、大気環境保全技術領域、資源循環技術領域、環境測定技術領域の 3 領域の公募を行うことを想定していたが、昨年 10 月から 11 月に先行して募集を行った 3 領域を加えた 6 領域の実証対象技術を来年度早々に公募することとする予定。

1. 公募期間

2019 年 4 月上旬から 5 月下旬を予定。

2. 募集対象領域と対象技術の具体例等

①水・土壌環境保全技術領域

(例: 自然地域トイレし尿処理技術、有機性排水処理技術、湖沼等水質浄化技術、閉鎖性海域の水環境改善技術、水質汚染対策技術、土壌汚染対策技術等)

②大気環境保全技術領域

(例: ヒートアイランド対策技術(建築物外皮)、排ガス抑制技術、ダイオキシン類排出抑制技術、騒音・振動防止対策技術、光害対策技術、大気汚染対策技術、悪臭対策技術等)

③資源循環技術領域

(例: リサイクルに関する技術等)

④気候変動対策技術領域

(例: 中小水力発電技術、ヒートアイランド対策技術(ヒートポンプ)、気候変動対策技術等)

⑤自然環境保全技術領域

(例: 自然地域トイレし尿処理技術、生物多様性確保技術、外来種対策技術等)

⑥環境測定技術領域

(例: VOC 簡易測定技術、①から⑤の技術領域に関する測定技術全般等)

3. 実証のスケジュール（予定）

2019 年	4 月上旬～5 月下旬	実証対象技術公募
	7 月上旬	実証対象技術決定
	7 月上旬～8 月上旬	実証機関公募
	8 月下旬	実証機関決定、実証開始
2020 年	3 月	実証結果とりまとめ